

完成を祈願し餅まきが行われた楽山保育園の上棟式

新園舎完成願い餅まき



室蘭・楽山保育園が上棟式

園舎の建て替えを進めている、室蘭福祉事業協会（沼田俊治理事長）が運営する楽山保育園の上棟式が15日、室蘭市宮の森町の建設現場（旧知利別小グラウンド跡地）で行われた。関係者と園児ら約100人が、工事の安全と完成を願い餅まきを行った。

沼田理事長と東海建設の中田孔幸代表取締役、はんざき建築事務所の半崎敏裕代表取締役、棟梁の道政辰夫さんの4人が屋根の上から紅白の餅をまき、園児たちは歓声を上げながら拾った。

中田代表取締役は「子どもたちに古来から伝わる儀式を体験してもらえて良かった」と述べ、沼田理事長は「園児たちは新園舎の完成を楽しみに待っている。引き続き無事に工事が進むことを祈っている」と話した。

新園舎は8月に着工。木造平屋で床面積は現園舎の約2倍の990平方メートル。来年2月に完成、4月のオープンを予定している。

（坂本綾子）

● 楽山保育園改築工事 上棟「餅まき」 新聞記事

開催日：令和5年11月15日（水）

上段：室蘭民報

左下：北海道建設新聞

右下：北海道通信

（新聞掲載日は各紙ともに11月17日）

東海建設
楽山保育園
移転新築
上棟式の伝統発信

【室蘭】東海建設（本社・室蘭）は15日、社会福祉法人室蘭福祉事業協会の楽山保育園移転新築現場で上棟式を開いた。園児66人を招いて餅まきをし、伝統行事の発信を図った。

市内の宮の森町1丁目6の16にある楽山保育園は老朽化と狭隘（きょうあい）化のため、宮の森町3丁目1の1の旧知利別小跡地に建て替える。W

園児招いて餅まき

中田会長はあいさつで、「新年度に向けた予算編成作業が本格化する時期。要望には予算確保や建設資材高騰への対応、担い手確保対策など、業界にとって重要な課題を挙げた」と述べた。

泉副局長は「社会資本整備は地域の暮らしや経済を支え、住民の生活と命を守る。必要な施設整備と維持管理の予算を確保したい」と応じた。

主な要望内容を見ると、道路が滝之町伊達線の早期完成、襟裳公園線の橋梁架け換え、室蘭港線と上厚真苫小牧線の横断歩道橋補修。河川で安平川や厚真川、漁港で礼文イタンキ、富浜の事業推進を求めた。



中田社長は「上棟式の餅まきという良き伝統を子どもたちに知ってほしい。また、建築の仕事に将来就きたいと思ってもらえたら」と笑顔を見せた。

造平屋、延べ990平方メートルの規模。2024年2月末の完成を目指している。

東海建設は9月に創立60周年を迎えた。地域への恩返しを兼ね、子どもともたちが餅を拾い集めた。

中田孔幸東海建設社長や沼田俊治室蘭福祉事業協会理事長ら4人が屋根部分から餅をまき、子どもたちが拾ってもらった。式を終え、お菓子の詰め合わせを贈った。



上棟式に園児招き餅まき

楽山保育園改築施工の東海建設

【室蘭発】東海建設（室蘭中田孔幸社長）は15日、室蘭市内で現在進めている楽山保育園改築工事の上棟式に当たって、園児たちを招いて餅まきを行った。園児に建築工事に関わる古くからの行事の一端を体験してもらおうと企画。園児はまかれた紅白の餅を一生懸命に拾い集めるなど、楽しい時間を過ごした。

楽山保育園改築工事は現在7棟目。ことし9月17日

に創立60周年を迎えたことから、地域への恩返しを兼ねて、園児に建築工事に関する古くからの行事を体験してもらおうと、上棟式の際の餅まきを企画した。

楽山保育園の園児や保護者約60人が参加。同社の社員約20人が、新調した社員デザインの法被を着て出席した。中田社長、室蘭福祉事業協会の沼田俊治理事長、はんざき建築事務所の半崎敏裕社長、棟梁の道政辰夫（ゆきまさ）代表取締役が登壇し、紅白の餅をまくと、園児は歓声を上げ、餅を拾い集めた「写真」。また、園児にはおみやげを用意した。

中田社長は「昔からの習わしだが、最近あまり見られなくなり、古き良き伝統が失われてきている。園児にこのような風習があることを少しでも知ってもらい、心に残ってもらえれば」と話した。

発注情報

都市再生

機構

都市再生機構は、11月以降発注予定の工事等情報を更新した。道内分は工事・模、単位・百万円。入札方式等情報はつきのおり（①工事・業務概要②入札予定時期③工期・履行期間④工種・業種⑤金額規模、単位・百万円。入札方式等情報はつきのおり）